

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成26年6月5日

標高1483mの山頂での復興事業説明！！ ～ 平成新山 防災視察登山 ～

発信元

雲仙復興事務所
砂防課 前田 薫

平成26年5月22日に平成新山防災視察登山が実施され、九州大学、雲仙復興事務所、県、市等の防災関係者及び報道関係者など83名が登頂しました。この防災登山は、九州大学地震火山観測センターと島原市との共催で、雲仙普賢岳警戒区域設定等に関わる防災業務の一環として、毎年春と秋に実施されており、今回で18回目となります。今回、事務所からは3名が参加し、現在、崩落の危険性が懸念されている溶岩ドーム対策について、事務所の復興事業とあわせ説明をしました。



見頃を迎えた、ミヤマキリシマ(仁田峠)



溶岩ドーム対策として、現在ハード・ソフトの両面からの対策を・・・

山頂で説明会



溶岩ドーム上を、足下に注意して登頂中



水蒸気の温度測定中(九州大学)

復興事業(雲仙普賢岳の経過と溶岩ドームの挙動)について説明！！

- 現在の溶岩ドームが14年間で約1mほど動いており、事務所でも、計測機器を使った挙動調査を実施。
- 溶岩ドームが崩落した場合の下流地区への影響範囲